

昭和30~40年代



多摩の農地 今と昔

シリーズ8

多摩市の農地の現在と昔を、写真で比較しながら紹介するシリーズです

今回は、和田の青木農園さんをお大栗川から日野方面に向かって見た風景です。写真上から、昭和30~40年代頃、昭和59年、そして現在となっており、大きな区画整理が無く地割が残っているため、見比べてみると変化がよくわかります。

農地は、主体であった米作の田んぼから畑に代わり、大栗川も護岸整備で直線的になって、当時の写真の位置より50mほど南西に変わっています。現在はマンションや住宅が多くなっていますが、背景の裏山の形状は昔と同じです。

昭和59年



以前は、里山として木は薪に、落ち葉は堆肥にして活用されていたためスッキリと見えますが、現在は、斜面部分にミカンやレモンなどの柑橘類を植えており、稜線がわかりにくくなっています。

写真中央部分の茅葺屋根の屋敷は、築150年以上で、屋根部分は瓦に変わりましたが現在も残っており、中の柱などは当時のままに、畑で採れた野菜を使った農家レストランやイベントスペースとして改築中です。

裏山からは水が湧き、奥に入れば今も蛍がいる...そんな環境の古民家レストランの完成が楽しみです。

今回私がこの記事を担当した理由は、昔の知らない多摩の姿をもっと知ってみたい、という思いがあったからです。

1枚の写真から、現状と照らし合わせて歴史を紐解いていく中で、時間の流れに思いを馳せながら、まだまだ豊かな環境が残っている都市農地の大切さを実感しました。

(文=農業委員 増田実生・写真提供=農業委員 青木幸子)



現在

お知らせ

■農業者年金はメリットいっぱいの制度です！ぜひご加入ください！

農業者年金は、積立方式で加入者、受給者数に左右されにくい公的年金です。貯金をする感覚で加入しメリットを受けましょう。

- ・対象は、国民年金の第1号被保険者で年間60日以上農業に従事されている方
- ・積立方式で少子高齢化の時代に強い制度です
- ・月額2万~6万7千円の間で、ご自身の状況に合わせて保険料を自由に選択できます
- ・80歳までの保証が付いた終身年金です
- ・保険料は全額が社会保険料控除の対象で、所得税、住民税の節税になります

■全国農業新聞をご購読ください！

農業委員会系統組織紙として、農政問題や制度・税制・技術経営などを取り扱う専門の週刊誌(毎週金曜日発行)です！様々なヒントから農地制度に関することまで、豊富な内容が掲載されています。■年額8,400円(月額700円)

▲【申込・問合せ】農業委員会事務局 ☎338-6848

全国農業新聞

農業者年金



▲昼食をとりながら毛利さんのお話を聞く

白石さんは練馬区で35年続く農家さんで、昔はキャベツ栽培が中心でしたが、今ではアスパラガスや摘み取りブルーベリーなど、幅広い手掛かけています。体験農園「大泉」のスタッフが、この日は、区画整理が無く地割が残っているため、見比べてみると変化がよくわかります。



▲練馬区の体験農園

白石さんの体験農園の横にあるレストラン「La毛利」で昼食をとりました。駅から距離があるものの、リピーターが多く人気のお店です。オーナーの毛利さんは、お店を始めて13年、白石さんの野菜を中心に料理を提供しているとのこと。実は、毛利さんも白石さんの体験農園の利用者であったというので、素材の味をそのまま活かしたメニューからも、農産物に対する真摯な姿勢を感じました。



▲シンポジウムの様子

加藤さんの体験農園「緑と農の体験塾」では、町会と連携して体験農園内で炊き出し訓練をしたというお話を伺いました。都市農地の多面的機能として災害時の避難所がありますが、平常時から、いざという時の訓練が肝心であり、農地の可能性や存在をアピールしていく必要性を感じました。また、トマトの水耕栽培も幅広く行っていて、トマトの自動販売機もあり、お土産に購入させていただきました。

練馬農業サミット 令和元年11月29日から12月1日まで、練馬区において世界都市農業サミットが開催されました。主催は練馬区(実行委員会)会長は区長で、実行委員会を設立し、準備期間として3年を費やしています。「練馬の都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、参加都市が相互に学び、さらに都市農業を発展させていくこと」をサミットの主な目的としており、ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの世界5都市のパネリストから報告がありました。

12月1日のシンポジウムでは、「多摩市都市農業振興プラン」策定委員長を務めた武蔵大学名誉教授の後藤光蔵氏が座長を務め、練馬区から白石好孝氏を含め世界5都市のパネリストから報告がありました。

「農」探訪... 視察研修・練馬農業サミット



▲トマトの自動販売機

23区内に限らず、都内では、様々な手法による地域に根ざした取り組みが重要です。農家さんと消費者が交流の場をもち、お互いに地域の農業をよりよいものにしていく努力を続けていかなければいけない、と強く感じた視察研修でした。

祝 一般社団法人 東京都農業会議 「第61回東京都農業委員会・農業者大会」表彰

令和2年2月20日、KOTORIホール(昭島市民会館)で開催された「第61回東京都農業委員会・農業者大会」において、多摩市から4名の農業者が表彰されました。受賞された農業者の皆様、誠にありがとうございます！
▶写真左から、「農業委員会等功労者表彰」の農業功労者感謝状を受賞された小山勲様、「企業的農業経営顕彰」の東京都農業会議会長賞と東京都産業労働局長賞をダブル受賞された小形勝様・千鶴子様ご夫妻、「農業委員会等功労者表彰」の東京都農業会議会長表彰を受賞された小暮和幸様

